

鈴木修さん死去

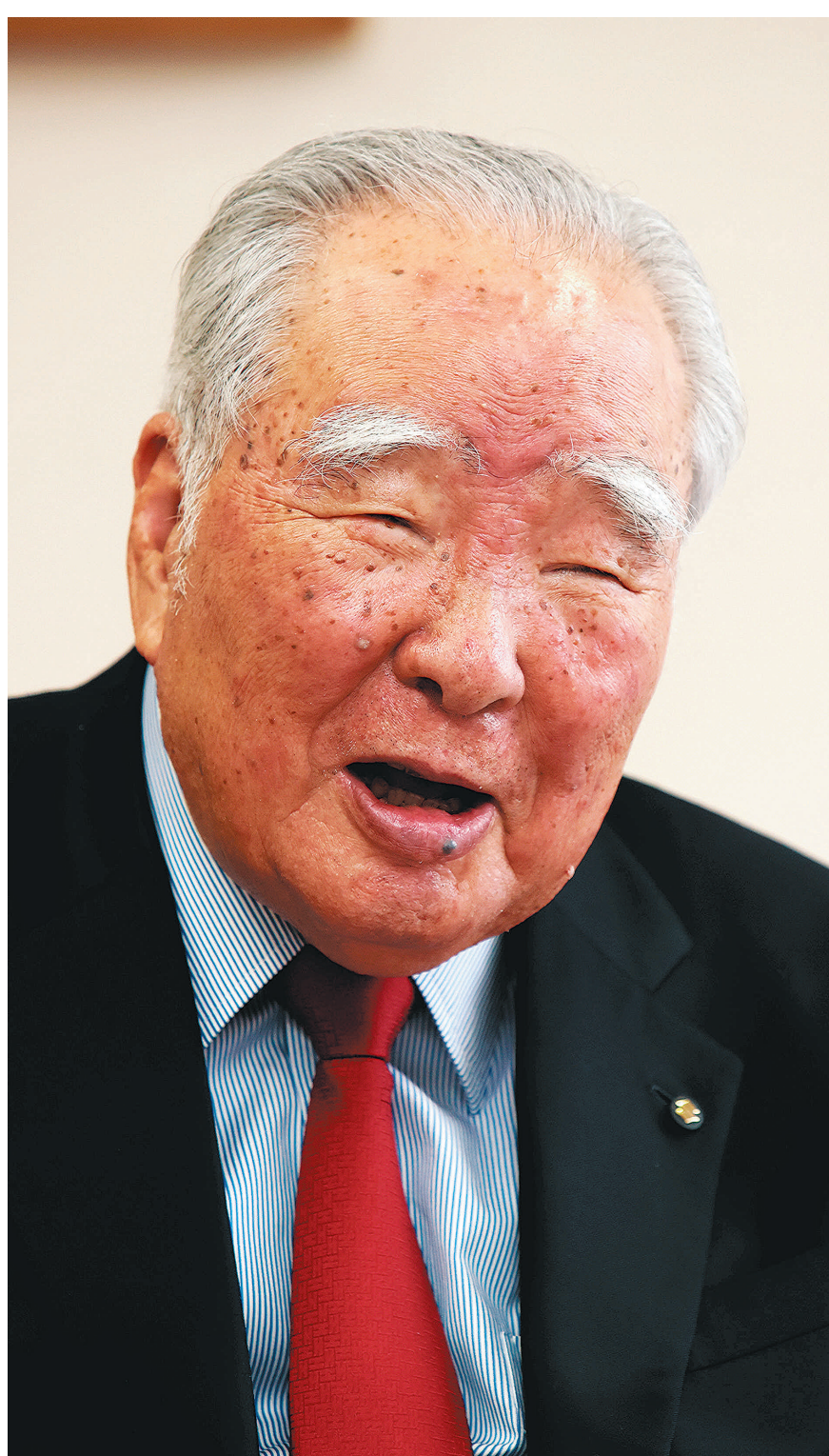
スズキを世界企業に94歳

スズキ（浜松市）を世界的な自動車メーカーに育て上げた同社相談役の鈴木修（すずき・おさむ）

さんが25日午後3時53分、悪性リンパ腫のため死去した。同社が27日発表した。94歳。岐阜県下呂町（現下呂市）出身。

1953（昭和28）年、中央大

法学部卒。中央相互銀行（現愛知銀行）入行後、鈴木自動車工業



俊三に見込まれた。58年に鈴木自工に入社し、78年に48歳で社長に就いた。79年に軽自動車「アルト」をヒットさせるなど軽市場を開拓。83年にはインドに進出した。2000年に会長に就任し、08年に再び社長を兼務。15年に社長職を長男俊宏さんに譲った後も経営のかじを取り、トヨタ自動車との資本業務提携を実現した。21年に相談役に退いた。